

# 東京農業大学稲花小学校

## 学校だより【6月6日】第10号



### 第一回運動会

6月1日土曜日、農大稲花小学校第一回運動会を開催いたしました。1年生の2組、児童数72名だけ、という小さな運動会です。概ね2時間、種目は、「50m徒競走」、「大玉ころがし」、「ダンス」、そして「玉入れ」の4つ。クラス代表による開会や閉会の言葉、全員での準備体操の指示も、上級生がいない分、1年生ががんばりました。220人を超える保護者の皆様の声援のもと、また、東京農大からのお客様、さらに、玉入れには、お隣の農大一中から中学生と校長先生の協力を得ることができました。子どもたちも、大いに楽しんだ様子です。保護者の皆さまも、入学式以来、まだ2か月足らずですが、それぞれの子どもたちの大きな成長を感じられたことでしょう。

### 農大稲花小の運動会

農大稲花小学校は新しい小学校です。運動会についても、その運営については、様々な工夫をいたしました。まず、運動会はただ楽しいだけのイベントではありません。子どもたちが、自らの運動能力をより高く発揮する喜びを知ること、新しい運動を覚える楽しみを知ること、教諭の指示にしたがって運動できるようになること、さらに、友だちと協力して運動をする協調性を学ぶこと等がその目的にあります。

運動会は、子どもたちの成長のためにあるという視点が大切でしょう。そのため、運動会の練習は通常の授業の中で行うにとどめ、特別な運動会用の授業シフトは組んでいません。

また、当日は、近隣へのご迷惑を最小限に抑えるため、運動会につきもののバックグラウンドミュージックも流しませんでした。子どもたちが中心であり、人工芝の美しいグラウンドを最大限に生かすことを考え、特段の装飾もしていません。さらに、プログラムは事前にHPに掲載し、印刷したプログラムの配布はいたしませんでした。小学校の方針に寄りそってくださる保護者の皆さまのご理解も得て、子どもたちの歓声、人工芝のグラウンドに思い思いに広がるご家族とその声援があり、楽しい思い出がたくさんできたことと思います。

## プログラム競技

競技においても子どもたちは、50m徒競走ではしっかりとしたスタートを切り、全力で走ってきました。大玉ころがしは、子どもたちだけでなく、保護者の皆様の参加もお願いしました。お父様、お母様だけでなく、兄弟姉妹や教職員が大玉と格闘する場面もあり、子どもたちの声援も最高でした。ダンスは、2020年応援ソングであるパプリカ(米津玄師 作詞・作曲)です。子どもたち、教職員、保護者の皆さまもグラウンドに広がりました。子どもたちの踊りは、なんともいえずにかわいいものでした。保護者の皆さまの中には初めて踊る方も多かったかと思われませんが、素晴らしいダンスを披露してくださいました。最後の玉入れは、クラス対抗だけでなく、“農大稲花小”対“農大一中(中等部)”の生徒さんという楽しい対決もありました。期せずして、「中学生がんばれ」という声援も子どもたちの中からあがりました。日ごろから交流のある農大一中からの応援にも感謝です。

閉会式のあとの後片付けには、保護者様のボランティアのお力をお借りでき、これもうれしいことでした。ありがとうございました。

第一回運動会は、このように安全に楽しく終えることができましたこと感謝いたします。これからも、農大稲花小学校の子どもたちの成長を、見守っていただきますよう、よろしく願いいたします。

校長 夏秋 啓子